

Mirai研レポート

国際的な教育プログラムを研究する高校

中間報告会 (8/4) 「未来の学校」計6校が報告や質疑応答を行いました。

国際的な教育プログラムを研究する高校

飯田風越高等学校

「未来の学校」構築事業 2022/08/04連絡会



1. 目標と取組概要

- (1) 構想と目標
- (2) 5つのプロジェクトと令和4年度までの目標
- (3) 取組の評価・効果検証に向けた計画に関して



2. 今年度(2022年)の進捗状況

- (1) F-教科指導・単元計画
- (2) F-ルーブリック・観点別評価
- (3) F-進路指導・留学指導
- (4) 新学校設定科目「世界の中の日本」作業部会
- (5) 新学校設定科目「アカデミックスキル」作業部会
- (6) その他

研究の経過 (昨年度まで)

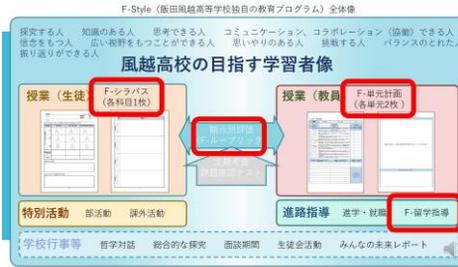
☆国際的な教育プログラムの研究・理解

- IB認定校視察
- 井上志音先生による講演
- 静岡大 藤井先生とのミーティング
- IBワークショップ参加
- IB教育推進コンソーシアム参加
- 職員研修実施

IBの魅力

- 「逆向き設計」評価の在り方から授業をつくる
- 「概念学習」教科横断授業
- 新学習指導要領の方針と一致
- 主体的、対話的で深い学び
- 常に学習者中心の立場

目指す学習者像をもとにすべての教育活動を行うというコンセプトを取り込み、新学習指導要領との融合を図る



◎F-教科指導・単元計画 F-スタイルの研究・開発

教科	単元	単元計画	評価
英語	第1単元
英語	第2単元
英語	第3単元
英語	第4単元
英語	第5単元
英語	第6単元
英語	第7単元
英語	第8単元
英語	第9単元
英語	第10単元

◎F-進路指導・留学指導 留学準備支援体制の整備検証

◎新学校設定科目「世界の中の日本」作業部会 R5年度の開講に向けた準備

◎新学校設定科目「アカデミックスキル」作業部会 R5年度の開講に向けた準備

◎F-ルーブリック・観点別評価 ルーブリック研究に基づく評価方法の開発

【ルーブリック-部 例】 国語・保健体育

評価項目	ルーブリック
国語	...
保健体育	...

【ルーブリック研究 今後の見通し】

- ・教科内、学年内で情報交換
- ・本校と同じような規模でルーブリックを使用しているIB校などに実践例を伺う。(例：札幌開成中等教育学校、高知国際高等学校)
- 本校アドバイザー 坪谷様からのご助言

◎F-進路指導・留学指導 留学準備支援体制の整備検証

留学指導

Google Classroom "F-Style Study Abroad" 23名
 学年別：1学年9名 2学年7名 3学年7名
 学科別：普通科10名 国際教養科13名

"F-Style Study Abroad" で案内した留学講座

- 本校独自企画「マレーシア大学進学セミナー」 生徒3名参加
- 留学フェローシップ 奨学金座談会、オンラインカレッジ 1名参加
- ベネッセ「海外進学WEBセミナー」カナダ留学説明会 生徒1名参加
- 本校独自企画「FUETSU Global Camp」 国際教養科1学年全員+希望者5名参加 (うち他校生4名)

教職員向けのセミナー

図書印刷「海外進学実績を出す学校になるための戦略」 職員2名参加

◎新学校設定科目「世界の中の日本」作業部会 R5年度の開講に向けた準備

「世界の中の日本」の目標 (抜粋)

日本と世界の関係を歴史的に考察することを通じて、日本の文化を相対化し、多様な文化に関心をもつことができる。

- ・昨年度 → 年間計画の立案
題材例) 夏目漱石『夢十夜』：現代と明治時代の比較
映画「アラビアのロレンス」：国家間のかかわり
- ・今年度 → 年間計画の一部を実施 (体験入学・日本史B)

目標：世界と日本の文化を比較し、その相対性に気づかせる一比較するクイズをつくる

◎新学校設定科目「世界の中の日本」作業部会 R5年度の開講に向けた準備

◎授業の流れ

導入 「日本らしい授業」と「アメリカらしい授業」の動画を観せる
→「日本らしさ」とは何か?

展開 ペアで、画像を用いた2択クイズを作る (どちらが日本なのでしょう?クイズ)

まとめ 「日本らしさ」は、もともとあるものではなく、比較することで見えるものかもしれない

生徒の作ったクイズ (一部)

- 自動車・島
- 湖・森林
- お菓子・アニメ
- 寿司

他の国の文化について、もっと調べてみたいと思った (生徒の感想)

文化の相対性について理解できた (生徒の感想)

◎新学校設定科目「アカデミックスキル」作業部会 R5年度の開講に向けた準備

FUETSU Global Camp

参加者：本校国際教養科1学年 39名
 本校希望者 1名 他校希望者 4名

生徒の感想(一部)

「誰でも海外進学できるという可能性をたくさん伝えてくれてありがとうございました!」

「留学に勉強は行かなくてもいいけど、留学や進学にはあまり授業と少考慮しなかったけれど、今日の講座でいい、楽しそうだなと思いました。」

アンケートの質問「海外大学進学を自分から希望するかどうか」に「やや希望する」「非常に希望する」が大半で、「あまり希望しない」「希望しない」は少数だった。

◎その他

みんなの未来レポート

みんなの未来レポート

みんなの未来レポート

哲学対話

プレゼン資料より一部抜粋

【頂いた感想・アドバイス概要】

- ・風越の先生方がチームとなって研究に取り組んでいらっしゃる様子が伝わってくる。(なかなか学校全体で取り組んでいくことが難しい中でも、風越は良いイメージでとらえていただけているようです)
- ・教科指導のみならず、学校の教育活動全体を通して生徒を育成していくという観点と、それを実現していくための具体的な手立てがある。
- ・生徒と文化をつくっていくという意味では、前向きな良い取り組みができているため、今度はそれを地域や他校にいかに関心を持っていくのかという観点があっても良い。SNSの活用などはどうか。
- ・IBのワークショップは金銭的にも日程的にも負担になるため、IBのコンソーシアムを活用したらどうか。
- ・ケンブリッジインターナショナルのカリキュラムは日本になじみやすいと思われるため、参考にしても良い。
- ・日本の学費で半年留学できるものもある。それを活用すれば、経済的な理由から留学を諦めなければならなかった生徒にもチャンスを与えられる。
- ・留学に関する講座に風越のみならず、他校からも参加者があった。そこからわかるように、海外語学研修や留学を望んでいる生徒がたくさんいるため、ぜひ実現させてあげてほしい。

ご協力して下さった先生方、ありがとうございました。夏休み明けは、実践等でMirai研の研究にお力添えいただくことが増えてくるかと思えます。何卒よろしくお願いいたします。